

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R1-18号)

令和元年9月18日

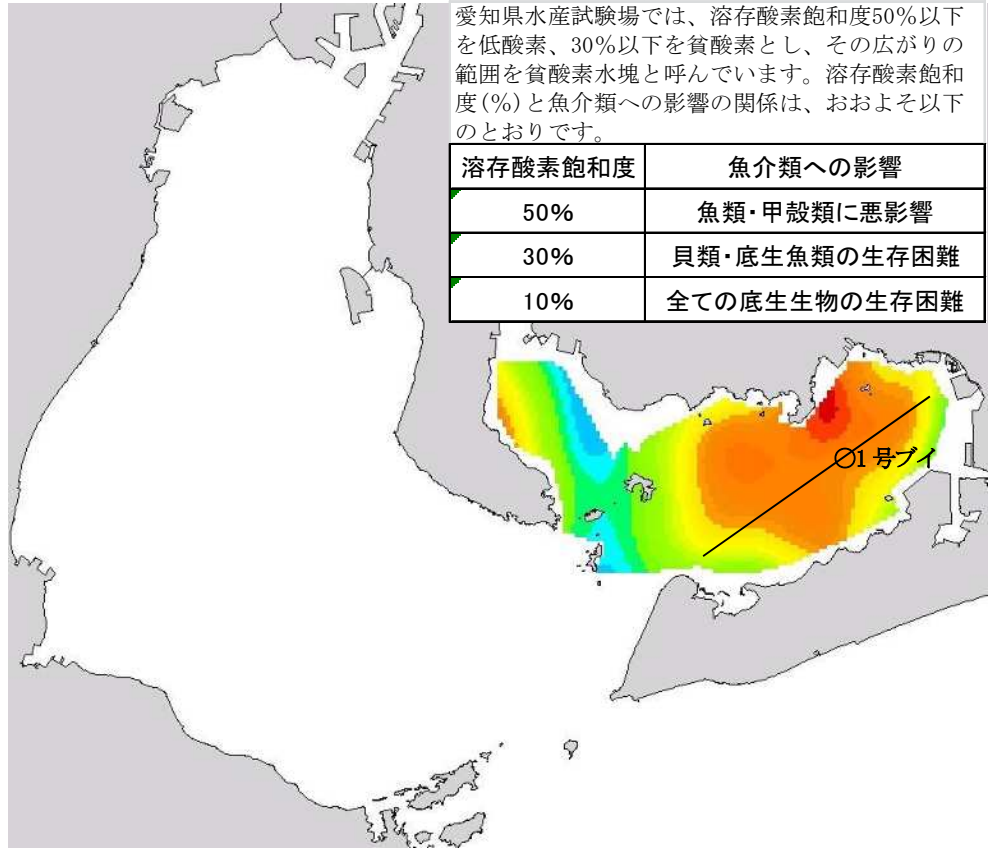
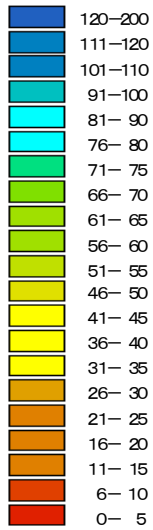
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和元年9月17日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

愛知県水産試験場では、溶存酸素飽和度50%以下を低酸素、30%以下を貧酸素とし、その広がり範囲を貧酸素水塊と呼んでいます。溶存酸素飽和度(%)と魚介類への影響の関係は、おおよそ以下のとおりです。

| 溶存酸素飽和度 | 魚介類への影響 |
|---------|--------------|
| 50% | 魚類・甲殻類に悪影響 |
| 30% | 貝類・底生魚類の生存困難 |
| 10% | 全ての底生生物の生存困難 |

溶存酸素飽和度(%)



湾口

三河湾奥

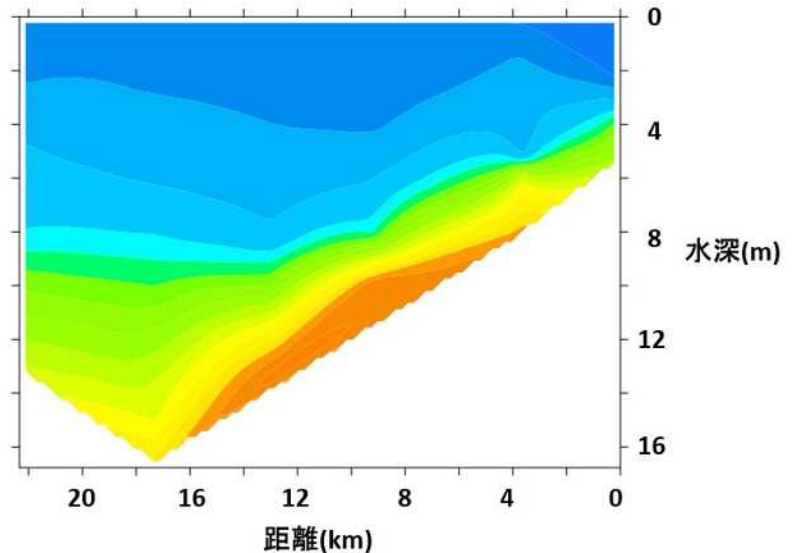


図1 三河湾(9月17日)底層の溶存酸素飽和度の分布(上図)及び上図直線部分の鉛直分布(下図)(愛知県「ちた」調査)

三河湾

9月17日の調査結果を図1に示しました。渥美湾は中央部で、知多湾では美浜町沖で貧酸素水塊が確認されました。渥美湾の貧酸素水塊は、溶存酸素飽和度30%以下の範囲が前回調査（9月11日）より拡大していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータを見ると、貧酸素水塊の厚みは9月上旬に比べて半分程度に薄くなりましたが、増減を繰り返している様子が観測されました（図2）。

今後、沖縄の南に存在する熱帯低気圧の動向によっては、貧酸素水塊が解消される可能性があります。

表2 調査時の水温・塩分

| | 水温(°C) | 塩分 |
|----|-----------|-----------|
| 表層 | 25.8~27.6 | 26.9~31.2 |
| 底層 | 24.3~26.4 | 30.7~32.6 |

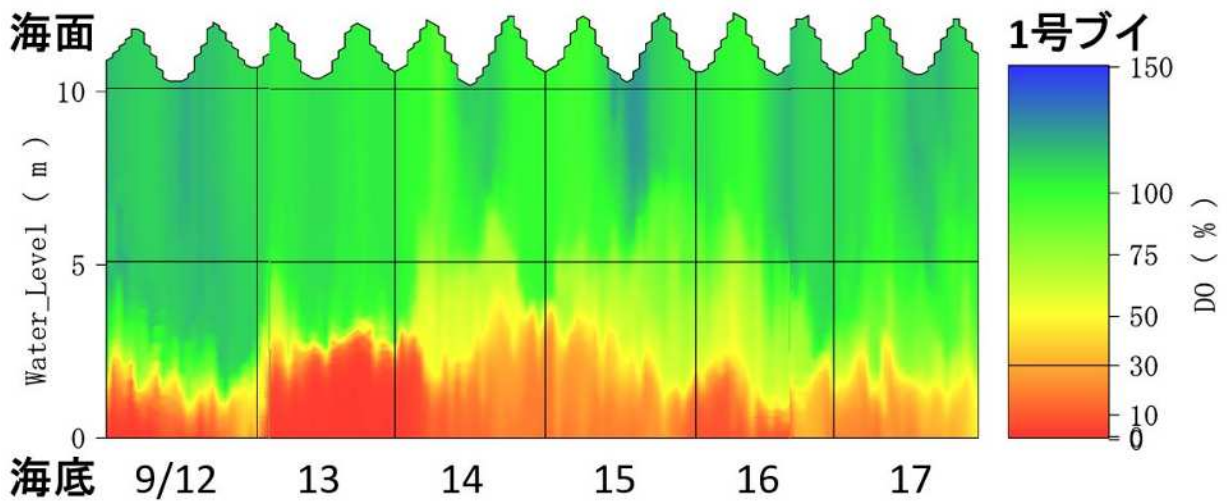


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況（図3）

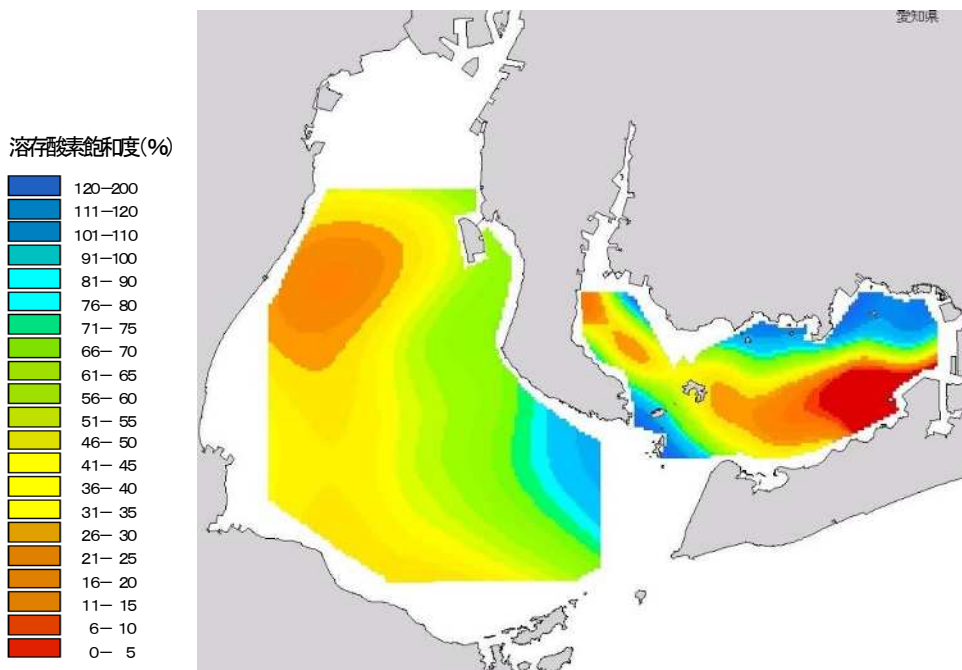


図3 令和元年9月9、10日（伊勢湾）、9月11日（三河湾）